

自らの手でよりよい学校にする取り組み

7/27 柳津小 「そてつくんリボン」で笑顔を広げよう

全校のみんなへ思いやりを広めようと活動を始めました。全校分のリボンを作るのは想像以上に大変ですが、私たちの思いを届けたいと思います。



小6女子

小6男子



名札やランドセルに「そてつくんリボン」を付けて生活することで、笑顔や協力の心が広がっています。

7/31 市橋小 「全校の笑顔をつなげ隊」が広げる笑顔の輪

コロナの対策をしながら、笑顔を広めたいと遊びやクイズなど4つの活動を始めました。



笑顔を広めるために、全校みんなが楽しめることを考え、クイズを出しています。



最初は、コロナの中で遊ぶのは大変だったけど、続けるうちに笑顔が増え、うれしかったです。



小6女子

地域の方にも喜んでもらう取り組み

7/19 三輪北小 地域いこいの場 学校の芝生手入れ



これまで10年間、多くの方が大事にしてきた芝生なので、これからも大事にしたいです。



小6女子



芝生があるので、走っていても転んでも痛くないです。とっても気持ちがいいですよ。



小5男子

8/16 島中 夏休み 環境整備ボランティア



新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な活動ができませんが、全校生徒が安心して過ごせる活動を一杯やっていきたいです。

コミュニティスクールと、島中おやじの会が年に2回、校内の環境整備活動を企画し、中学生もボランティアとして一緒に活動しています。



中3男子



8/4 加納中 地域の方、学校に来る方の笑顔を増やすボランティア



中2女子

美しい学校にするために学校の花の手入れをボランティアとして始めました。学校に来たお客様、地域の方々が笑顔になってもらえるのでうれしいです。



中2女子

今日は、咲いていた花の種から芽がでたので、移植しました。他にも花の手入れなど、毎日活動しています。これからも美しい花が咲く学校にしたいです。



5/27 手作りマスクを寄付する中学生

休校中に、厚見中1年生の生徒が、マスク不足を知り、おうちの人と共にマスク作りを始めました。作ったマスクを警察署、市役所、公民館などに寄付する活動をしてきました。



厚見中1年男子

マスクがなくて困っている人のためにマスク作りを始めました。手伝ってくれる仲間も増え、多くのマスクが作れるようになりました。多くの人に喜ばれてとてもうれしいです。

楽しい活動が待ってるよ ~岐阜市の公共施設から~

岐阜市科学館



今の様子は、こちらをチェック

入場時に、サーモカメラで検温します。体温だけでなくサーモカメラのことも分かります。



担当者

サイエンスショーは、時間を短縮し、人数制限をして開催しています。安全対策をしつつ、楽しみながら学習できる内容になっています。



ドリームシアター岐阜



今の様子は、こちらをチェック



担当者

密接や密集を防ぐために、一人で遊ぶおもちゃを職員が手作りして増やしました。安心して遊べる環境を用意し、みなさんをお待ちしています。



SNSで岐阜の歴史や大河ドラマ「麒麟がくる」の見どころを紹介する岐阜市博物館中高生ボランティア



中3男子

展示内容をお客様に伝えることを通して、歴史学習の理解がさらに深まります。貴重な体験ができる魅力的なボランティアです。

岐阜の魅力を伝えたくてボランティアを始めました。今は、外国の方にも岐阜の歴史を伝えたいと思い、英語の配信にも挑戦しようと考えています。

大河ドラマ館では中高生ボランティアが見どころを解説案内しています。新型コロナウイルス感染症の影響の中でもFacebookを活用し、展示の紹介をしています。



今の歴史博物館の様子は、こちらをチェック



ボランティア活躍の様子は、こちらでチェック ※歴史博物館 Facebookへ



高3女子

岐阜市

少年の主張大会

2020

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、会場発表形式ではなく、作文応募形式での実施となりましたが、多くの中学生から応募がありました。

代表生徒のみなさんの作文には、中学生らしい感性で、現在の社会への主張が語られていました。



入賞した6人の生徒は、早川教育長から表彰を受けました。



入賞者一人ひとりの主張に講評をいただきました。



岐阜県大会の様子から 中原さんは、岐阜地区の代表として、8月3日の県大会に出場し優秀賞に選ばれました。



入賞したみなさんに一番伝えたいワンフレーズを聞いてみました!



岐阜中央中学校 中西 真尋さん 「禍を糧に そしてその先の未来へ」



私達はコロナ禍を嘆くだけでなく、せつかくのゆとりある時間の中での出会いや考えを糧に、新しい未来を創造すべきである。



厚見中学校 近藤 万由佳さん 「あたりまえの有難さ」



私たちの身の回りには、有ること自体が難しい当たり前ばかり。そんな有り難い当たり前を見つければ、小さな幸せが心に積もっていきます。



青山中学校 田中 優真さん 「命を守るために」



高齢者の方々が免許を返納しやすい社会をつくっていくこと。そして多くの命が守られる豊かな社会の実現が私の願いです。



藍川東中学校 中原 直寛さん 「メディアリテラシーの必要性」



メディア等が伝える情報を鵜呑みにするのではなく、情報を主体的・批判的に読み解く「メディアリテラシー」を大切にしたい。



加納中学校 吉田 絵里加さん 「本当の幸せとは」



私が当たり前だと思っていた日常は、かけがえのない、とても幸せなものでした。そんな日常に感謝し、全力で「今日」を生き抜いていきます。



長森中学校 小林 匡さん 「感謝がつくるモノ」



現代人に求められるのは「創造する力」「主体性」様々なものがある。しかし、一番大切なのは「感謝する力」なのかもしれない。

※また、14名の人が奨励賞となりました。